

多文化共生の町と人びとを訪ねる旅

マレーシア、ペナン・イポー

経済発展と多民族多文化共生社会を模索しつづける国、マレーシア。知れば知るほど不思議な国へ、人びとが織りなす歴史と文化を体験し、食する旅です。

小規模沿岸漁民団体 PIFWA は、開発で奪われていく漁場を回復するためにマングローブ植林を自ら始めました。ペナンでは PIFWA との植林体験やマレー人の村でのホームステイのほか、多文化社会の凝縮した町ジョージタウンを歩きます。イポーでは、ブキ・メラ村で 1980 年代の日本の進出企業による放射性廃棄物問題と闘った中華系移民の人びとと、プランテーションから立ち退きを迫られるインド系コミュニティを訪ねます。

多様な人びとと多様な文化を包摂するマレーシアの人たちの話を聞き交流し、グローバル社会で生きる自分自身を見つめる旅です。

このツアーの ポイント

1

多様な食事を満喫
(マレー、中華、
プラナカン、ナシ・カンダール)



2

多様な背景を持つ
多民族の人びとと交流し、
直接話が聞ける!

3

マレー人漁民と
マングローブの
植林を体験

4

マレー半島(イポーからクアラ
 Lumpur)を列車で縦断

開催時期:

2016年 **6日間**
12月24日(土)
12月29日(木)

申込締切:

2016年
11月21日(月)



スケジュール (現地側の都合などによって変更になる場合があります)

日付(曜日)	時間	プログラム	宿泊
12月24日(土)	AM	成田空港で集合し、出発 成田発	
	21:00	ペナン島ホテル集合・チェックイン プラナカン料理をつまみながら懇親	ペナン島ホテル
25日(日)	AM	ジョージタウン街歩き〜キリスト教の道を訪ねる	
	PM	多文化の凝縮した町を散策、ティータイム 海辺で海鮮中華の夕食	ペナン島ホテル
26日(月)	AM	マレー半島のマレー人漁村を訪問 漁民と一緒にマングローブの植林活動	漁村でのホームステイ
	PM	マレー料理をつくって食べる、ホームステイ	
27日(火)	AM	漁船に乗ってえび漁を見る、イポー市へ移動	
	PM	イポー名物チキンライスとホワイト・コーヒーの昼食 中華系移民の歴史を訪ねる〜錫鉱山跡地訪問 ブキ・メラ村で公害輸出(放射性廃棄物)問題について話を聞く	イポー市内のホテル
28日(水)	AM	大規模開発で立ち退きが進められるインド系の村を訪問 インド系移民の社会、暮らしについて話を聞く	
	PM	イポー駅から鉄道でクアラルンプール(KL)に移動、 KLセントラル駅で自由行動、ショッピング	
	23:35	日本に向けて出発	機内泊
29日(木)	7:15	成田空港着	

旅行代金: **189,000円**

(往復航空運賃、燃油等付加運賃、全行程宿泊費、)
(マレーシア国内での食費、入国税、航空税等含む)

旅行企画: **株式会社 風の旅行社**

現地協力: **PIFWA**

(Penang Inshore Fishermen Welfare Association = ペナン沿岸漁民福利協会)

日本語
通訳付き

お一人様での
ご参加も
大歓迎!

ジョージタウンの
ストリートアート

